

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成21年11月5日(2009.11.5)

【公開番号】特開2008-70561(P2008-70561A)

【公開日】平成20年3月27日(2008.3.27)

【年通号数】公開・登録公報2008-012

【出願番号】特願2006-248573(P2006-248573)

【国際特許分類】

G 0 9 G 3/36 (2006.01)

G 0 9 G 3/20 (2006.01)

G 0 2 F 1/133 (2006.01)

【F I】

G 0 9 G 3/36

G 0 9 G 3/20 6 2 1 B

G 0 9 G 3/20 6 2 1 F

G 0 9 G 3/20 6 3 1 B

G 0 9 G 3/20 6 4 1 C

G 0 9 G 3/20 6 4 1 R

G 0 9 G 3/20 6 5 0 E

G 0 9 G 3/20 6 6 0 V

G 0 2 F 1/133 5 0 5

G 0 2 F 1/133 5 7 0

【手続補正書】

【提出日】平成21年9月11日(2009.9.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

___ フレームデータを入力する入力手段と、

フレームデータを格納するフレームメモリと、

前記入力手段で入力されたフレームデータと、前記フレームメモリに格納された該入力されたフレームデータの前のフレームデータと、を比較して補正データを決定する決定手段と、

決定された前記補正データを、前記入力されたフレームデータに付加する付加手段と、

前記補正データが付加された前記入力されたフレームデータを、前記フレームメモリに書き込み制御する制御手段と、

前記制御手段により前記フレームメモリに書き込み制御されたフレームデータを予め定められたフレームレートで読み出し、該フレームデータに付加された前記補正データに基づいて、該フレームデータを補正する補正手段と、

補正された前記フレームデータに基づいて画像を表示する表示制御手段と、を備えることを特徴とする表示装置。

【請求項 2】

前記決定手段は、前記入力手段によるフレームデータの入力に同期して、前記入力されたフレームデータの前のフレームデータを前記フレームメモリから読み出し、前記比較を行う

ことを特徴とする請求項 1 に記載の表示装置。

【請求項 3】

前記制御手段は、

前記補正データが付加された前記入力されたフレームデータに含まれるライン毎のデータを書き込む第 1 ラインメモリを備えることを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の表示装置。

【請求項 4】

前記制御手段により前記フレームメモリに書き込まれたフレームデータに含まれるライン毎のデータを書き込む第 2 ラインメモリを更に備え、

前記補正手段は、前記第 2 ラインメモリを介して前記フレームメモリから前記補正データが付加されたフレームデータを読み出す

ことを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれか 1 項に記載の表示装置。

【請求項 5】

前記フレームメモリは、第 1 フレームメモリと第 2 フレームメモリとを備え、

前記制御手段は、

前記補正データが付加された前記入力されたフレームデータを、当該入力されたフレームデータの前のフレームデータが、前記第 1 フレームメモリに書き込まれている場合は前記第 2 フレームメモリに、前記第 2 フレームメモリに書き込まれている場合は前記第 1 フレームメモリに、書き込み制御する

ことを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれか 1 項に記載の表示装置。

【請求項 6】

フレームデータを入力する入力手段と、

フレームデータを格納する第 1 フレームメモリと、

前記入力手段で入力されたフレームデータと、前記第 1 フレームメモリに格納された該入力されたフレームデータの前のフレームデータと、を比較して補正データを決定する決定手段と、

前記決定手段で決定された補正データを格納する第 2 フレームメモリと、

前記入力されたフレームデータを、前記第 1 フレームメモリに書き込み制御する制御手段と、

前記第 1 フレームメモリよりフレームデータを予め定められたフレームレイトで読み出し、前記第 2 フレームメモリに格納されている補正データに基づいて、フレームデータを補正する補正手段と、

前記補正手段で補正されたフレームデータに基づいて画像を表示する表示制御手段と、を備えることを特徴とする表示装置。

【請求項 7】

フレームデータを格納するフレームメモリを備える表示装置の制御方法であって、

入力手段が、フレームデータを入力する入力工程と、

決定手段が、前記入力工程で入力されたフレームデータと、前記フレームメモリに格納された該入力されたフレームデータの前のフレームデータと、を比較して補正データを決定する決定工程と、

付加手段が、決定された前記補正データを、前記入力されたフレームデータに付加する付加工程と、

制御手段が、前記補正データが付加された前記入力されたフレームデータを、前記フレームメモリに書き込み制御する制御工程と、

補正手段が、前記制御工程において前記フレームメモリに書き込まれたフレームデータを予め定められたフレームレイトで読み出し、該フレームデータに付加された前記補正データに基づいて、該フレームデータを補正する補正工程と、

表示制御手段が、補正された前記フレームデータに基づいて画像を表示する表示制御工程と、

を備えることを特徴とする表示装置の制御方法。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００２１

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００２１】

上記目的を達成するため、本発明による表示装置は以下の構成を備える。即ち、

— フレームデータを入力する入力手段と、

— フレームデータを格納するフレームメモリと、

前記入力手段で入力されたフレームデータと、前記フレームメモリに格納された該入力されたフレームデータの前のフレームデータと、を比較して補正データを決定する決定手段と、

決定された前記補正データを、前記入力されたフレームデータに付加する付加手段と、

前記補正データが付加された前記入力されたフレームデータを、前記フレームメモリに書き込み制御する制御手段と、

前記制御手段により前記フレームメモリに書き込み制御されたフレームデータを予め定められたフレームレイトで読み出し、該フレームデータに付加された前記補正データに基づいて、該フレームデータを補正する補正手段と、

補正された前記フレームデータに基づいて画像を表示する表示制御手段と、を備える。

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００２２

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００２２】

また、本発明による表示装置の制御方法は以下の構成を備える。即ち、

フレームデータを格納するフレームメモリを備える表示装置の制御方法であって、

入力手段が、フレームデータを入力する入力工程と、

決定手段が、前記入力工程で入力されたフレームデータと、前記フレームメモリに格納された該入力されたフレームデータの前のフレームデータと、を比較して補正データを決定する決定工程と、

付加手段が、決定された前記補正データを、前記入力されたフレームデータに付加する付加工程と、

制御手段が、前記補正データが付加された前記入力されたフレームデータを、前記フレームメモリに書き込み制御する制御工程と、

補正手段が、前記制御工程において前記フレームメモリに書き込まれたフレームデータを予め定められたフレームレイトで読み出し、該フレームデータに付加された前記補正データに基づいて、該フレームデータを補正する補正工程と、

表示制御手段が、補正された前記フレームデータに基づいて画像を表示する表示制御工程と、を備える。